

Part 1

まず通信料を最適化

外出先での電話やデータ通信、大容量データを使うビデオ会議。業務の質とスピードを上げるために、今やICTは欠かせない。そのコストの無駄を省き、しかもストレスなく業務を進めるための“燃費改善”こそ、企業を強くする秘訣だ。まずは、毎月かかる通信料の削減法から紹介しよう。

01 シンプルかつ使いやすくなった法人向け携帯割引

携帯電話コストを削減するには、まず利用状況の調査が肝心だ。社員間の通話が多いのか、顧客や取引先など外部との通話が多いのかで、利用すべきサービスは変わる。また についても、携帯同士か、携帯 - 会社間かによって選択肢は異なる。

外で活動する社員が多く、携帯同士の通話が多い場合には、グループ間通話の定額サービスを利用する。

NTTドコモは7月1日から、従来の多種多様な料金プランを集約した法人向け割引サービス「ビジネスシンプ

ル」を提供開始した。回線数や利用期間に関わらず基本使用料が一律50%となる「ビジネス割50」と、通話・通信料を割引する「ビジネス通話割引」をセットで申し込むと適用される。グループ内の通話は24時間無料(国内通話に限る)で、社外への通話やパケット通信料についても回線数に応じて10~30%の割引が受けられる(図表1-1)。

ソフトバンクモバイルも、これと同内容の「ホワイト法人」を9月1日から開始する。

社内の固定電話への電話が多い

場合には合わせて、ソフトバンクテレコムの「おとくライン」への通話を無料化できる「ホワイトライン24」、外部への電話が多い場合には「Wホワイト」を使うといい。ともに1回線ごとに月額980円で利用できる。

auの場合は、「法人割(10回線まで)」と「ビジネス通話定額(299回線まで)」で、グループ内通話を無料化できる。ビジネス通話定額ではau携帯電話だけでなく、KDDI メタルプラス(事業所用)や光ダイレクトなどへの通話も対象にできるため、携帯 - 会社間の通話が多い場合にもお待たせ。1番号ごとに月額945円で利用できる。

図表1-1 分かりやすさが増した法人向け割引サービス

		NTTドコモ「ビジネスシンプル」			ソフトバンクモバイル「ホワイト法人」		
回線数		2~30回線	31~100回線	101~1000回線	2~30回線	31~100回線	101~1000回線
基本使用料		50%割引 「ビジネス割50」適用			980円(ホワイトプラン)		
通話・通信料	定額料	無料	525円/回線	945円/回線	無料	525円/回線	945円/回線
	グループ内への国内通話	24時間無料			24時間無料		
	グループ外への国内通話 / パケット通信料	10%割引	20%割引	30%割引	10%割引	20%割引	30%割引
無料通信分のグループ内共有		(2010年12月開始予定)			可能		